

V Bが提供する主な仮想試着サービス

企業名	サービス名
メイキップ(東京・新宿)	ユニサイズ
普段着ているブランドのサイズや身長、年齢、腕の長さなどの質問に答えるとお薦めのサイズが提案される	
バーチャサイズ(東京・渋谷)	バーチャサイズ
過去に買った衣類と、購入しようとしている衣類を重ね合わせて画面上に表示し、サイズ感をイメージしてもらう	
英フィッツ・ミー(楽天が2015年に買収)	バーチャル・フィッティングルーム
身長やウエストのサイズ、腕の長さなどを入力すると自分の体型のモデルが表示され、そのモデルに異なるサイズの服を試着させられる	
ヒナタデザイン(東京・千代田)	スケボス
パソコンやスマートフォンなど、あらゆる端末で画面内に対象物を実物大で表示できる	



衣料・服飾雑貨のネット通販市場は拡大している

仮想試着 ネットで浸透

衣料品のネット通販でベンチャー企業(VB)の仮想試着サービスが注目を集めている。通販市場は拡大しているが、試着できないことは依然顧客の不安材料。サイズ感がわかれば顧客の不安を払拭でき、通販会社の利益を圧迫する返品率の低下にもつながる。

顧客の不安払拭 返品率も低下

メイキップ

ジーユーで採用

バーチャサイズ

手持ち服と比較

「サイズが合わないのではないかと不安も解消され、洋服をネットで買う機会が増えた」。横浜市在住の30代主婦はこう話す。お気に入りの洋服をネットで購入したが、サイズが合わずに失敗したことがあった。女性はファーストリネイリンググループの低価格衣料品専門店ジーユー

のネット通販サイトを利する。欲しい商品を見つけたら「自分に合うサイズを調べる」というボタンをクリックし表示されたサイズを購入した。利用するのはVBのメイキップ(東京・新宿、柄本真吾社長)が提供する仮想試着サービス「ユニサイズ」だ。ジーユーは同サービスを連携させ

ている。購入したい服を選ぶと事前に入力した身長や年齢、体重や身体の特徴に基づきお薦めのサイズを提案してくれる。「お客が便利になるのはもちろん、アパレル企業の返品率を抑えられる」(メイキップ)

スウェーデン系企業のバーチャサイズ(東京・渋谷、上野オラウソン・アンドレアス社長)は以前に購入した洋服と比較して、サイズをイメージで表示する。バーチャサイズは、購入したい商品と過去に購入した商品のイラストを画面上で重ねて表示し、サイズを比べられる。「人によって着心地が良いと感じる感覚は異なる。手持ちの服と比べられるの

が最善のアプローチと考えた(バーチャサイズ)。ウェブでの購入履歴がない場合は、手持ちの洋服のサイズを測って登録できる。古着専門店「ラクタク」を運営するティンパンアレイ(東京・中央、平野大輔社長)はバーチャサイズの導入。「消費者かと、自分と似た体形のモ

デルが画面に表示され、モデルが代わりに試着することで自分が着ているようなイメージがわく。「楽天市場」の加盟店で一部導入しており、「購買率と単価の向上、返品率の低下などの効果があったため、加盟店での利用を拡大する」という。経済産業省によると、15年の衣類・服飾雑貨などのネット通販市場は前年比7.9%増の1兆3839億円。15兆円を超える衣類・服飾雑貨市場でのネット通販比率は約9%になる。物販系では家電や食品を上回る最も大きい市場規模に育っている。試着の問題が解消すればネット比率はさらに高まるとみられる。サイトの利便性を高めるVBのサービスには今後注目が集まりそうだ。

車下請けにセミナー

自動運転やライドシェア動向



スタンフォード大学でヒアリングするD-Labのメンバーら

シリコンバレーの日本人有志

【シリコンバレー】小川義也「電機産業の悲劇を繰り返すな」。シリスコ日本国総領事館に務めるメンバー4人が昨年有志が29日、自動車業界の下請けメーカーを主な対象にしたセミナーを都内で開く。自動運転車やライドシェア(相乗り)サービスなどシリコンバレーの最新事情を報告する。産業構造の変化への対応策を練る契機にしてもらうのが狙いという。「シリコンバレーD-Lab」を紹介する。

Labは、パナソニック、トーマツベンチャーサポート、日本貿易振興機構(ジェトロ)サンフランシスコ、在サンフランシスコ日本国総領事館に務めるメンバー4人が昨年立ち上げた。セミナーは経済産業省の協力を得て開催する。スタンフォード大学の研究者やトヨタ自動車の人工知能(AI)研究会、社トップなど有識者へのヒアリングを基にまとめた自動運転車やライドシェアなど4分野の最新事情を紹介する。

VBのM&A 支援サービス

トーマツ系

起業家支援のトーマツ

地元特産の...